

2024年9月19日

関係各位

千代田化工建設株式会社
IR・広報・サステナビリティ推進セクション

千代田化工建設株式会社と筑波大学共同研究 筑波大学附属病院内に細胞調製施設(CPF)を建設完了、運用開始

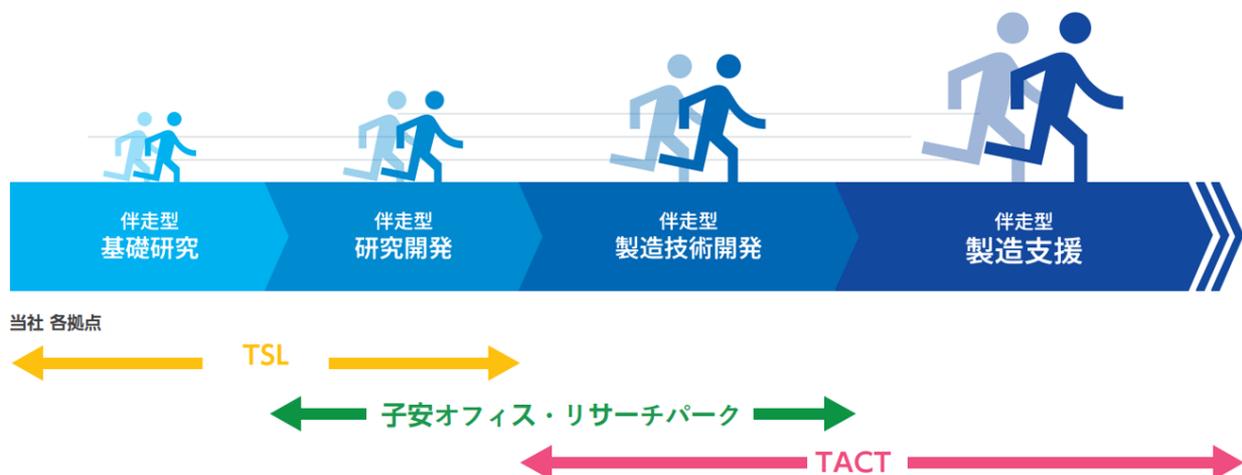
千代田化工建設株式会社(本社:横浜市、社長:太田 光治、以下「当社」)は、最先端の再生医療の実用化を推進するため、国立大学法人 筑波大学(所在地:茨城県つくば市、学長:永田恭介、以下「筑波大学」)および筑波大学附属病院(所在地:茨城県つくば市、院長:平松祐司、以下「附属病院」)との共同研究に取り組んで参りましたが、この度、新たな細胞培養加工施設(Cell Processing Facility)名称:「TACT(Tsukuba Advanced Cell Therapy Facility)」を9月末に建設完了し、本年10月より運用開始することをお知らせいたします。

当社は、ライフサイエンス分野においてエンジニアリング会社のパイオニアとして、60年以上にわたり630件以上の様々な実績を積み上げて参りました。2020年に筑波大学産学リエゾン共同研究センター内につくば幹細胞ラボ(TSL)を設立し、筑波大学との特別共同研究事業⁽¹⁾を進めることで、蓄積された技術ノウハウと、アカデミアの知見の融合により、再生医療分野に於ける基盤技術開発から社会実装まで、産学連携の総合的なサポート体制の構築を進めて参りました。

今般のTACTの開設は、共創の場「つくばデジタルバイオ国際拠点」⁽²⁾の基盤を活用した再生医療等製品製造プロセス開発支援の拠点となります。これにより、当社は、TSL、当社子安オフィス・リサーチパークと合わせて3つの拠点を得たことで、基礎研究から製造開発支援までアカデミア・医療機関・企業が近い距離で再生医療等製品の製造工程の条件構築や細胞の特性評価に関する当社の「伴走型技術コンサルティング」⁽³⁾サービスの拡大を進めます。今後、がん免疫治療実用化研究のベースとなるiPS細胞由来免疫細胞の製造工程・技術の確立プロジェクトに参画予定しております。

本プロジェクトを通じて、当社のパーパス『社会の“かなえたい”を共創(エンジニアリング)する』を実現してまいります。

伴走型技術コンサルティング



(¹) 特別共同研究事業 筑波大学が実施している制度の一つ。産学共通の課題解決のために、企業が資金以外に研究員を投じ、筑波大学教員と企業側研究員が対等な立場で、共同研究を実施する。

https://www.sanrenhonbu.tsukuba.ac.jp/joint-research/for_company-kyoudou/

(²) 共創の場「つくばデジタルバイオ国際拠点」

科学技術振興機構(JST)が支援する「共創の場形成支援プログラム」に基づき、つくばを中核とするバイオリソースとデジタル技術を駆使した学際研究により、全世代の国民の well-being をサポートする社会の実現を目指す拠点形成プログラム。

[Internet Security by Zscaler \(tsukubadigitalbio.jp\)](https://www.tsukuba-digital-bio.jp/)

(³) 伴走型技術コンサルティング

再生医療などの先端医薬品は、その薬効原理、評価試験、製造プロセス開発などにおいて、従来の低分子医薬品と異なる技術や知見が使用されます。製品の上市を見越した研究開発から製造プロセス開発、製造支援までを規制やガイドラインに対応させつつ戦略的かつ技術的な解決策を提供する当社の新規サービス事業のこと。

以 上

この件に関するお問い合わせ先 : IR・広報・サステナビリティ推進セクション 池尻

Email: irpr@chiyodacorp.com

URL: <https://www.chiyodacorp.com/jp/contact/index.php>